



支店だより News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。

JAわかやま 紀の里地域 総代懇談会

JAわかやま紀の里地域本部は12月3日、「令和7年度JAわかやま紀の里地域総代懇談会」を紀の川市の粉河ふるさとセンターで開催しました。総代113人と岩上昌義副組合長、本店及び同地域本部の役職員らが出席しました。

岩上副組合長の開会の挨拶から始まり、令和7年度上半期仮決算についての概況や実績、自己改革進捗状況等について報告した後、意見交換を行いました。



最後に同地域本部の中山裕之本部長から日頃のお礼の挨拶をして閉会しました。



粉河
支店

防犯訓練

12月4日、粉河支店金融窓口にて防犯訓練を行いました。

当日は岩出警察署の署員が実際に強盗犯に扮して、強盗から逃走までの一連の流れを行い、緊張感のある訓練となりました。

最近では、強盗のみでなく、振り込め詐欺やフィッシング詐欺が増加しているので、職員一同、日頃から防犯意識を高めていきます。

那賀
支店

八朔の「目揃え会」開催

11月19日、東部流通センターにて「八朔の目揃え会」が開催されました。当日は生産者が集まり、出荷に向けて品質や規格の確認を行いました。

八朔は爽やかな酸味と香りが特徴で、ビタミンCやクエン酸を多く含み、疲労回復や免疫力向上に役立つとされています。また食物繊維も豊富で健康づくりに適した柑橘です。是非ご賞味ください。

桃山
支店

トレーニングファーム から桃農家誕生

11月27日、桃山支店にて、あら川の桃トレーニングファームの閉講式と開講式が行われました。研修生1名が2年間の研修を経て12月より桃農家としてデビューすることになりました。

出席者からお祝いや激励の言葉を受け、2年間支えていたいただいた方への感謝と「今度は、これから桃農家を目指す人たちのために役立ちたい」と抱負を力強く述べました。

開講式では新たに2名の研修生を迎えることとなりました。2年後の成長が今から楽しみです。

岩出
支店

年金友の会親睦旅行

11月25・26日に年金友の会岩出支部において親睦旅行が行われ、今回は静岡県焼津市方面へ73名の参加をいただきました。

1日目には小國神社やグリンピア牧之原等を訪問し、焼津で魚料理を食べ、夜には焼津黒潮温泉を堪能し、毎年恒例の宴会で盛り上りました。

2日目には久能山東照宮等を訪問し、天気も良く富士山も見え絶景を堪能することができ、最高の親睦旅行となりました。皆さんも参加してみませんか。年金の受け取りはJAで!

打田
支店

小学生 稲刈り体験

打田支店では10月28日に池田、田中小学校の5年生を対象に稲刈り体験を行いました。

当日は天候に恵まれ、小学生は青年部のお兄さんたちから鎌の使い方について教わり指を怪我しないように、元気いっぱい稲刈りを行いました。

貴志川
支店

貴志川支店 ふれあいまつり



11月22日、「貴志川支店ふれあいまつり」を開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、大勢の皆様にご来場いただきました。

もちつき体験では列ができる、ちいさな子どもたちが一生懸命杵でもちをつき、出来上がったおもちはきな粉に付けて皆様に振舞いました。

ステージでは、大声コンテスト、スコップ三味線、よさこい踊りやビンゴゲーム、カラオケ大会などが催され大変盛り上りました。

当日は事故もなく、無事に開催する事が出来ました。来場された皆様ありがとうございました。

2026.1

令和8年度 栽培暦例は
ホームページからもご覧になれます

農情情報

Agri INFORMATION

[組合員様専用ページを見るには]

インターネットで以下のアドレスを入力
<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または

JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ
右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
ログインしてください。

いちご

- 追肥（第二回目）、防除、除草については、表1を参考に行ってください。
- 近年ベト病が多発傾向につき、ピシロックフロアブルによる早期防除を行いましょう。
- 厳寒期に入り、光と適度な温度を確保し、草勢管理と着色不良果の防止に努めます。

玉葱
過度の乾燥は春期の生育に影響するので注意しましょう。

野菜

表1. 玉葱の管理例

○追肥

栽培方法	時期	追肥 (10a当たり)	
青切り栽培	1月下旬	アズマップ545	40kg
吊り玉用栽培	2月上旬	アズマップ545 又は紀の里5号ペレット	220kg

○防除

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期 / 使用回数
ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日/6回
白色疫病、べと病	ジマンダイセン水和剤	500倍	3日/5回
べと病	ピシロックフロアブル	1000倍	前日/3回

○除草

雑草名	薬剤名	希釈倍数
イネ科雑草	セレクト乳剤	75mlを水100ℓに溶かして
広葉雑草	バサグラン液剤	120mlを水100ℓに溶かして

* 雜草の発生が認められる場合、なるべく雑草が小さい頃に除草剤を散布してください。

草勢維持と大玉つくりを目的に、第二果房の摘果を行いましょう。果房の頂果が色付いてきた頃が摘果の時期で、結果枝が爪楊枝より細いものを間引きます。

ささい。収穫後の果梗は早期に除去してください。摘葉は、枯葉を除去する程度にします。摘葉する枯れた下葉の付け根が生きている場合は水不足、肥料不足の可能性があります。通路が湿っていても株元が乾いていることがあります。かん水間隔は5日以上空けず、葉に陽光が当たつてから3時間後に行いましょう。昼過ぎまでのハウス内温度は25℃を目標に管理します。

花芽分化後のいちごは根への養分供給が少ないので、定期的に酸素供給剤がM.O.X. 10ℓ / 10a のかん注も効果的です。（土耕の場合）

草勢維持と大玉つくりを目的に、第二果房の摘果を行いましょう。果房の頂果が色付いてきた頃が摘果の時期で、結果枝が爪楊枝より細いものを間引きます。

※ 防除については「紀の里 11月号」を参照してください。

一寸そら豆

天候により病気の発生が多くなることがある為、予防散布を行ってください。1株当たり6～7本に整枝し、倒伏防止のため株元中心に4～5cmの厚さに土寄せを行ってください。

土寄せは一度に多量の土を盛ると株が弱りますので数回に分け、少量ずつ行ないましょう。

畝の両側に支柱を立てテープなどを引き倒伏を防ぎましょう。

病害虫防除は、表2を参考に散布してください。

ウスイエンドウ

冬期でも害虫の発生が見られるため、初期防除を徹底してください。強風で過度に搖すられるのを防止するため、支柱ネットの設置を早めに行いましょう。

病害虫防除は、表3を参考に散布してください。

表4. キャベツの防除例

病害名	薬剤名	倍数	使用時期 / 使用回数
菌核病	パレード20 フロアブル	2000倍	前日 / 3回
	シグナムWDG	1500倍	7日 / 2回
	ゲッター水和剤	1500倍	7日 / 2回
	ファンタジスタ 顆粒水和剤	2000倍	3日 / 3回
	ロブラー水和剤	1000倍	7日 / 4回

表2. 一寸そら豆の防除例

病害虫名	薬剤名	倍数	使用時期 / 使用回数
アブラムシ類	マラソン乳剤	1000倍	7日 / 3回
	ハモグリバエ類		
さび病、輪紋病	ジマンダイセン 水和剤	600倍	30日 / 3回

表3. ウスイエンドウの防除例

害虫名	薬剤名	倍数	使用時期 / 使用回数
ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日 / 3回
	マメシンクイガ		

キャベツ

生育が進むとともに、菌核病が発生することがあります。葉が旺盛になつてからでは薬剤の効果が劣るので、低温期から表4を参考に予防散布に努め、発生した株は除去し、圃場外に持ち出しましょう。

柑 橘

柑橘の剪定は寒波の心配が少なくなる
2月中旬ごろから行います。剪定で切り
すぎると葉数が少なくなるため、剪定量
は全体葉数の2割程度を落とす程度に留
めるようにしましょう。

●間伐

密植園は風通しや日当たりが悪いた
め、枯れ枝が増え、薬剤散布のかけムラ
ができやすくなり病害虫被害が多くなり
ます。また、亜主枝上の横枝がなくなる
ため収量が減少します。まずは間伐を行
い、作業のしやすい園地作りを目指しま
しょう。

●剪定

内向枝や亜主枝上の立枝は、樹形を乱
し、樹幹内部を暗くするため早期に切除
するようになります。また、大きな枝
を切除する場合は、樹勢低下などを引き
起こす恐れがあるため、2~3年かけて
段階的に切るようにしましょう。(図1)

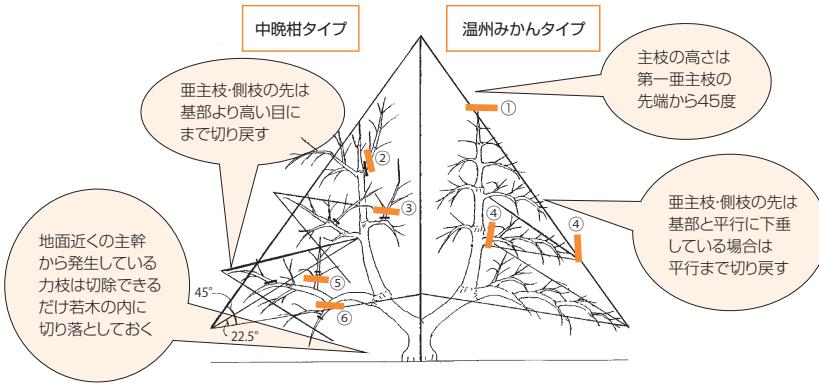
・みかんの剪定

【表年樹】着花量が多いと予想される樹
結果母枝が多くあるので、間引きせん
定を主体とします。充実した夏枝は切ら
ず着果させて樹勢のバランスをとりま
しょう。

【裏年樹】 着花量が少ない

着果量を確保することを第一に、せん
定は成り跡(果梗枝)の除去など弱めに
行います。また、着花の確認できる4月
中旬以降にせん定してもいいでしょう。
・中晩柑類の剪定
中晩柑類は大玉生産が目標で、着花量
を抑えて春芽の発生を促すことが大切で
す。下垂枝の切り返しや成り跡(果梗枝)
の除去を行い、樹勢の強化に努めまし
う。ただし、大幅に葉数が少なくなるよ
うな強剪定は、樹勢が低下する原因とな
りますので注意してください。

図1. 柑橘剪定のイメージ



- ①樹高の切り下げ: 樹高は横幅の5~6割にする(横幅が5mなら樹高は2.5m)
- ②主枝との競合枝を削除: 放置するとさらに徒長し影響が大きくなる
- ③内向枝: 内部に日照が入りにくく枯れ枝の発生を助長する
- ④亜主枝への被さり枝: 切除するか切り戻す
- ⑤亜主枝上の立枝: 基部から切除
- ⑥下垂枝・枯れ枝の切除

うな強剪定は、樹勢が低下する原因とな
りますので注意してください。

●土壤管理

先月に引き続き、土づくり、土壤改良
を行いましょう。

(みかん・中晩柑類)

土づくりとして、10a当たり完熟堆肥
2tを目安に施用してください。又、完熟
堆肥の施用ができない場合は、アツミ
ン80kgを施用してください。また、土壤改
良として10a当たり苦土セルカ2号又は
セルカ2号又はセルカ120kgを施用してく
ださい。土壤分析結果より、苦土が少
ないと診断された園地では、10a当たり
スーパー マグ60kgを施用してください。
(レモン)
土づくりとして10a当たり完熟堆肥2tを、
土壤改良として10a当たり苦土セルカ2号
120kgを施用してください。

落葉果樹

表1. 施肥例

	品種	施肥量(10a当たり)
みかん	河 北	・完熟堆肥 2t 又は アヅミン 80kg
	河 南	・苦土セルカ2号 120kg 又は セルカ 120kg
中晩柑類	八 朔	(土壤分析結果により、苦土が少ない園では、 スーパー マグ60kg)
	不知火 清 見 はるみ	
レモン		・完熟堆肥 2t ・苦土セルカ2号 120kg

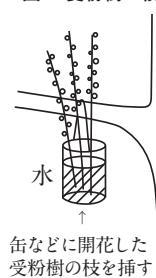


表1. ミツバチの導入について

時 期	・開花3分~5分咲頃
巣箱の数	・10a当たり1箱程度
活動状況	・気温12°Cで活動を始め、15°C以上で無風の日に飛来活動が活発になります。
巣箱設置 (注意点!)	<ul style="list-style-type: none"> 朝日が当たる、南向きの風が当たらない場所に巣箱を設置してください。 ミツバチの出入り口を南向きにし、出入り口に雨水が入らないようにやや傾けてください。 設置したら出入り口は開けたままにしてください。閉めてしまうとミツバチの群れの熱で死んでしまうため、絶対に閉めないでください。 巣箱を設置している間は、農薬の散布を行わないでください。



図1. 受粉樹の枝挿し



2月に入ると開花期となります。結実を安定させる為にも受粉樹(南高の場合
は小粒南高など)の混植や、受粉用ミツ
バチの導入を行いましょう。(図1)。また、
受粉樹が少ない園では、園内に受粉樹の
枝挿しを行うのも効果的です(図1)。

表2. 品目別施肥例

品目	時期	施肥量(10a当たり)
柿	1月～2月 土壌改良	完熟堆肥…2t 又は アツミン…80kg 苦土セルカ2号 又は セルカ…120kg ※土壤分析結果で苦土が少ない園では、スーパーMグ…60kg

表3. 品目別防除例

品目	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
スモモ	2月上旬	ふくろみ病	(展着剤) アビオン-E トレノックス フロアブル	1000倍 500倍	—/— 14日/3回

ふくろみ病の防除時期です。病原菌は桃の縮葉病と同属で防除は無風の日を選んで枝先まで丁寧に散布してください。(表3)



剪定後は誘引作業の時期となります。まだ剪定が終わっていない園では、樹液が流れ出る時期になりますので、できる限り早期に終わるようにしましょう。

剪定後は誘引作業の時期となります。まだ剪定が終わっていない園では、樹液が流れ出る時期になりますので、できる限り早期に終わるようにしましょう。

柿
引き続き、剪定と土作りの時期になります。剪定が終わった園では、粗皮削りを行い、越冬病害虫（カキノヘタムシガ・カイガラムシ類）対策と落葉の処理を行いましょう。

桃

剪定もほぼ終わりの時期ですが、見直しを行いましょう。また、せん孔細菌病対策として、防風ネットや防風樹の点検、スプリンギング・キャンカーニーの除去、排水溝などを見回り、改善が必要なところは直しましょう。

キウイフルーツ

剪定後は誘引作業の時期となります。まだ剪定が終わっていない園では、樹液が流れ出る時期になりますので、できる限り早期に終わるようにしましょう。

スモモ

ふくろみ病の防除時期です。病原菌は桃の縮葉病と同属で防除は無風の日を選んで枝先まで丁寧に散布してください。(表3)

りに、ザクサ液剤500mlと、ゴーゴーサン乳剤300mlを水150lに溶かし、全面に散布してください。
芽出し肥は10a当たりに、紀の里5号ペレット50kg又はスーパーIBS56を30kg施用してください。肥料が多いと奇形花や病害発生の原因となるので注意してください。

スプレーマム

これから時期、換気不足によりハウス内が多湿条件になりがちです。白さび病・灰色かび病等の発生に注意してください。

かん水は晴天日を選び、葉に陽光が当たってから3時間後に行いましょう。

特に病害への防除は予防散布となりますので定期的な防除を心掛けましょう。防除薬剤は、表1を参考してください。

灰色かび病の発生に注意してください。ハウス内が15～20℃で、多湿になると発生しやすくなります。かん水・農薬散布は晴天の午前中に行い夕方までに乾くようにしてください。

灰色かび病の防除薬剤は紀のわ1月号を参考してください。

ベニバナ（露地）

春播き栽培の播種時期は、2月下旬～3月下旬で行います。播種時期が遅くなると、草丈が短くなり叢数も少なくなりますので注意してください。元肥として焼加安44号を10a当たりに40～60kg施用してください。マルチ被覆を行うことで萌芽を早め、揃いを良くします。マルチ被覆前には、除草剤の散布と芽出し肥をしてください。マルチ被覆を行うことで萌芽を早め、揃いを良くします。マルチ被覆前には、除草剤の散布と芽出し肥を施用してください。除草剤は、10a当たりには、15cm×6cmマスのフ

土をするかバーク堆肥等で覆うようにします。また、播種後はかん水し発芽を促してください。

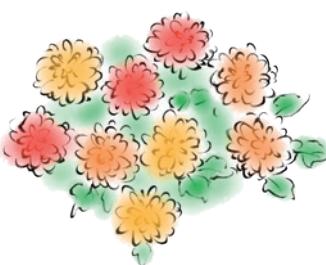


表1. スプレーマムの防除例

*葉斑防止に展着剤のスカッシュ1500倍を加用してください。

病気名	薬剤名	倍数	
白さび病	チルト乳剤25	3000倍	
	ラリー乳剤	3000倍	
	アンビルフロアブル	1000倍	
	ポリオキシンAL水溶剤	2500倍	※花弁葉害注意
	ストロビーフロアブル	2000倍	単体用。葉害注意。
	ハチハチ乳剤	1000倍	
灰色かび病	ファンタジースタ顆粒水和剤	3000倍	
	ゲッター水和剤	1000倍	
	パレード20フロアブル	2000倍	



金融

営農

農業塾第16期卒業式

12月11日(木)第16期農業塾の卒業式を行いました。今期の受講生は23名。

全13回の講義中、全出席の方が5名もおられ、皆様には最後まで熱心にご参加を頂きました。意見交換会やアンケートで頂いた内容を参考に、今後も農業塾運営に取り組んでまいります。第17期生の募集は1月外務デーのチラシ配布で行います。



購買

「肥料空袋・農薬空容器・紀の川柿使用済ポリ袋」回収のご案内

購買部では、令和8年2月に肥料空袋、農薬空容器、ポリ袋の回収を各営農経済センター・事業所の購買で行います。回収についてはそれぞれ、

- 肥料空袋はJA品とJA品以外で区別して、二つ折りでヒモを十字に縛って氏名を記入してください。
- 農薬空容器はボリ容器に限ります。必ず水洗いをして、フタをせずに透明なゴミ袋に入れて縛り、氏名を記入してください。
- 紀の川柿使用済ポリ袋は、透明のゴミ袋に入れて縛り氏名を記入してください。

処理費用については、JA品以外の肥料空袋・農薬空容器・紀の川柿使用済ポリ袋は有料です。JA品の肥料空袋は、今年も処理費用は無料です。また、持ち込みには委任状が必要となります。

詳細・委任状については1月配布の「紀のわ」折り込みの案内、もしくは最寄りの営農経済センター・事業所の購買までお問い合わせください。

販売

2月のおすすめ果物

2月は、果物がいちばん美味しいくなる品目が多く、食卓が華やぐ季節です。

八朔・不知火・清見・はるみなどの中晩柑類は酸味のバランスがよく、爽やかな香りとともに旬の味わいを楽しめます。

また、苺も甘さが増し、品種ごとの味わいの違いがよりはつきりと感じられる季節です。デザートやおやつとして人気があります。

さらに、キウイフルーツも2月は美味しさが安定し、ほどよい酸味とさわやかな甘みが楽しめます。ビタミンが豊富で、寒い時期の健康づくりにぴったりの果物です。2月は、旬の果物の魅力をたっぷり堪能できる時期です。ぜひ季節の味わいをご家庭でお楽しみください。

休日涉外訪問活動のご案内

涉外担当者が休日に訪問させていただき、共済の請求漏れはないかの確認や、各種相談に対応させていただく活動を行っています。



2月訪問日は
2月22日(日)です!!

例えば…

貯金・学資金の準備・住宅の新築、
リフォーム・車の購入
住宅ローン金利見直し・老後の年金・
相続・建物の保障
生命共済(保険)の加入内容について等
*わからないこと、困ったことは各支店窓口・
涉外担当者までお気軽に問い合わせください。

